

9/1 Hirado City Photo News  
平戸市のスポーツ振興に寄与



平戸市民体育祭の総合開会式において、平戸市のスポーツの発展に多大な貢献をされた団体・個人への表彰式が行われました。

今年、平戸市社会体育優良団体に2団体、平戸市体育功労に6個人が表彰され、平戸市体育協会の辻村敏会長から表彰状が贈られました。

(表彰団体・個人は以下のとおり)

【団体】FC田平・生月少年相撲クラブ

【個人】正木篤・橋口幹生・川村千明・井元健人・石田虎夫・平石博徳(敬称略)

9/1 Hirado City Photo News  
日ごろの練習の成果を発揮して



平戸市文化センターで、平戸市民体育祭の総合開会式が開催されました。

市民体育祭には、18競技から約1,300人の選手が参加し、この日は選手を代表してソフトボール競技の大畑宗之さんが「これまで高めた力と技を発揮し、フェアプレー精神をもって競技に参加します」と力強く選手宣誓を行いました。

今年の市民体育祭は、9月1日のバドミントン競技を皮切りに10月20日(日)の相撲競技まで行われ、期間中は市内各地で熱戦が繰り広げられます。

8/24~25 Hirado City Photo News  
平戸ならではの仕事や憧れの職業を体験



平戸文化センターを主会場に、「Kidsジョブチャレンジ2019」夏"in平戸"が開催されました。

地域の仕事や魅力を伝え、将来を担う人材確保や観光活性化を目的に、75種類のお仕事体験が行われました。テレビやラジオ、お菓子作りの仕事から漁師やかまぼこ職人といった平戸ならではの仕事に多くの子どもたちがチャレンジしました。

今回初めて夏休みに開催し、市内外から2日間で延べ1,469人の子どもたちが参加。子どもたちは、真剣な表情で仕事に取り組んでいました。



9/14~15 Hirado City Photo News  
秋を告げる平戸の味覚



平戸瀬戸市場で「新米・新アゴまつり」が開催されました。

会場では、市内の農家が生産した新米や例年より遅い12日から本格的に始まった漁で取れたアゴ、福岡県うきは市の「道の駅うきは」のブドウやナシなどの販売が行われました。また、合鴨米を育てた合鴨も顔見せしました。

取れたての新アゴのつかみ取りや新アゴの食べ比べには多くの来場者が並び、平戸の秋の味覚を買い求める人たちが大いににぎわいました。

9/8 Hirado City Photo News  
地域の伝統を受け継ぐ



平戸文化センターで「第41回長崎県子ども会伝承芸能大会」が開催されました。

地域の伝承芸能の発表をとおして、子どもたちの継承への自覚と意欲を高め、鑑賞する観客にも認識を新たしてもらうことを目的に、県内各地で開催されています。

今年、平戸市大会ということで、生月勇魚捕唄保存会、宮の町獅子舞保存会、平戸地区自安和楽保存会、平戸神楽振興会、田助ハイヤ節保存会の5団体の演舞が披露されました。

8/30 Hirado City Photo News  
民間主導でキャンプ場を運営



平戸市役所で「中瀬草原整備・運営管理事業基本協定書調印式」が行われました。

都市公園法の改正により創設されたPark-PFI制度を活用し、官民一体となってキャンプ場や周辺施設を整備することを目的として中瀬草原の整備運営管理を公募し、日本工営㈱と星野建設㈱でつくる特定目的会社「㈱中瀬草原キャンプ場」との協定内容が整ったことから調印を行いました。今後は、現在の地形を変えずに管理棟やキャンプサイトゾーンなどを整備し、来年4月の供用開始を目指します。

8/27 Hirado City Photo News  
加入促進および出動への理解を



平戸市消防署で、平戸商工会議所と平戸市による「消防団活動の充実強化に向けた支援に関する協定」締結式が行われました。

地域防災力の向上と消防団員が勤務する事業所への消防団活動の理解と協力を深めてもらうことや、消防団活動に協力した事業所を公表、表彰するなど、消防団活動の充実強化を目的に締結しました。

平戸市商工会議所の早田会頭はあいさつで、「市民の生命・財産を守る消防団活動に、会員事業所としても協力、理解していきたい」と話しました。